

# 向こう 1 か月の天候の見通し

## 関東甲信地方（7 月 1 日～7 月 30 日）

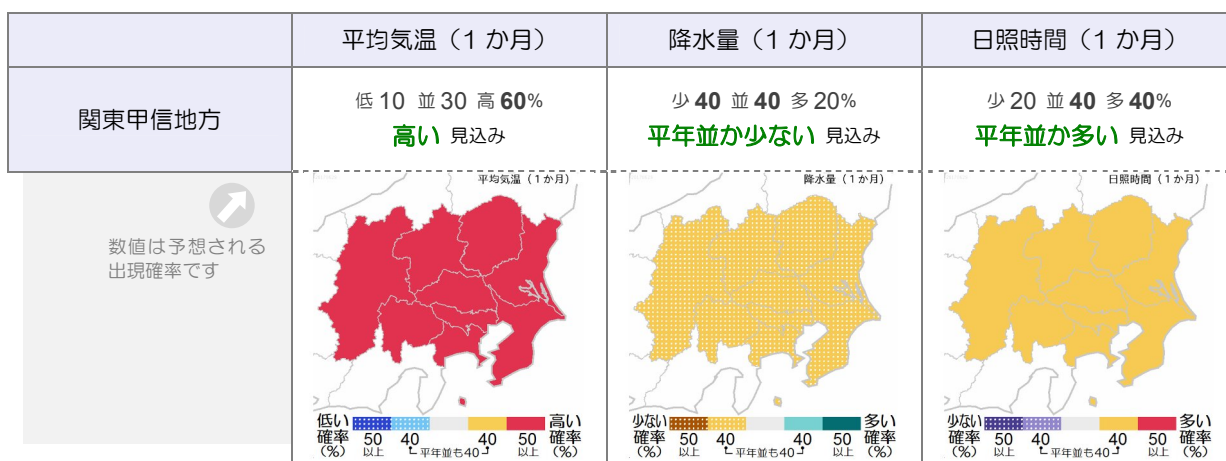
気象庁地球環境・海洋部

### 予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすく、向こう 1 か月の気温は高いでしょう。また、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
- 前線や湿った空気の影響を受けにくく、向こう 1 か月の降水量は平年並か少ないでしょう。日照時間は平年並か多い見込みです。

〔 6 月 23 日発表の 3 か月予報の 7 月の見通しに比べ、前線や湿った空気の影響を受けにくい予報に変わったため、少雨の可能性が大きくなりました。 〕

### 1 か月の平均気温・降水量・日照時間



### 週別の天候

(1 週目) 7/1～7	(2 週目) 7/8～14	(3～4 週目) 7/15～28
前線や湿った空気の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。	前線や湿った空気の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

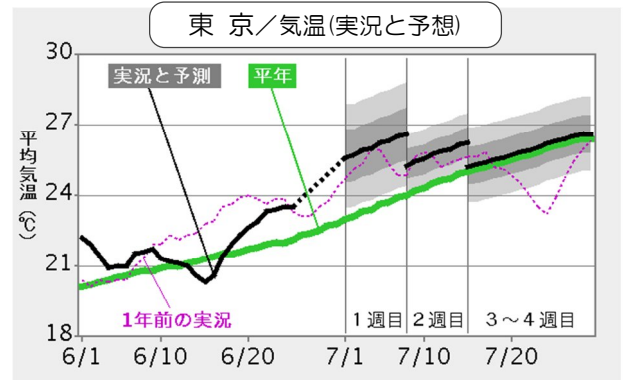
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

## 週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 7/1~7	平均気温（2 週目） 7/8~14	平均気温（3~4 週目） 7/15~28
関東甲信地方	低 10 並 10 高 80% <b>高い</b> 見込み	低 10 並 30 高 60% <b>高い</b> 見込み	低 30 並 40 高 30% <b>ほぼ平年並</b> の見込み
数値は予想される 出現確率です	平均気温（1週目） 	平均気温（2週目） 	平均気温（3~4週目） 

ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、  
気象庁ホームページ  
<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>  
で公開しています。

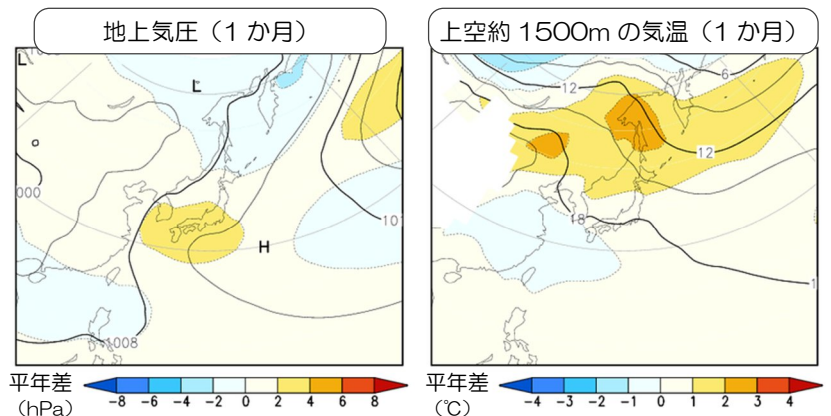
予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が 40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は 7 日平均気温です。



## 数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、本州の南岸を中心に高く、この付近への太平洋高気圧の張り出しが強い予測となっています。

上空約 1500m の気温（右図）は、日本の北を中心に顕著に高く、北・東日本でも高い予測となっています。一方、西日本以西では平年との隔たりは小さい予測となっています。



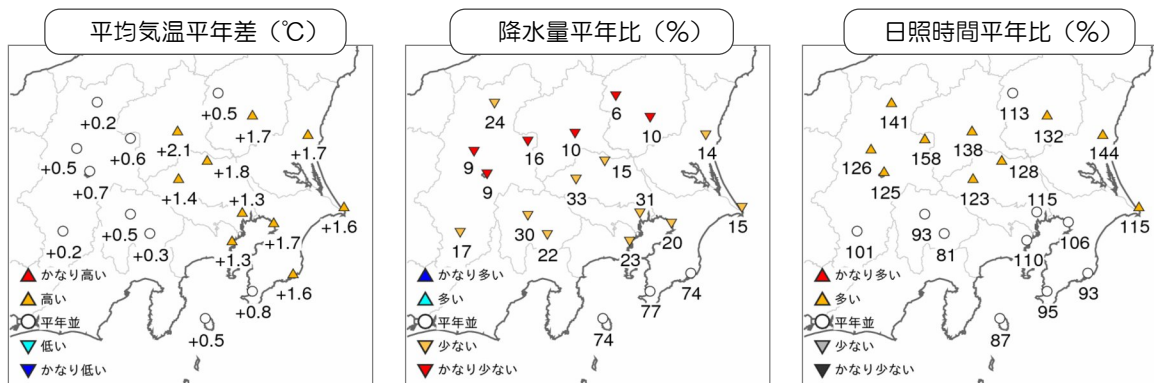
季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況）

6/22~28

関東甲信地方は、梅雨前線が南海上に停滞しやすく、梅雨前線に近い関東地方南部の沿岸部を中心に曇りや雨の日が多くなりました。一方、梅雨前線から遠い関東・甲信地方北部ではこの時期としては曇りや雨の日が少なかったため、日照時間は多く、降水量はかなり少ない地点が多くなりました。

この期間の気温は高く、降水量はかなり少なく、日照時間は多くなりました。



(実況) 6/22~28	平均気温平年差 (°C)	降水量平年比 (%)	日照時間平年比 (%)
関東甲信地方	+1.1°C (高い)	26% (かなり少ない)	116% (多い)

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
関東甲信地方	平年差：-0.2~+0.5°C	平年比：79~115%	平年比：84~115%
東京	24.4~25.5°C	102.6~164.6mm	99.8~151.0時間

	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
関東甲信地方	平年差：-0.8~+0.8°C	平年差：-0.7~+0.9°C	平年差：-0.5~+1.0°C
東京	22.3~24.4°C	23.5~25.7°C	25.1~26.8°C

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
東京	10.5 日	9.6 日	2.1 日	2.8 日	2.3 日	2.5 日	6.1 日	4.3 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1mm以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率	(低(少) : 平年並 : 高(多))	解 説
高い(多い) 確率が 50%以上	(20 : 40 : 40)	…… 高い(多い) 見込み
平年並の確率が 50%以上	(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	…… 平年並が高い(多い) 見込み
		…… 平年並の見込み
		…… ほぼ平年並の見込み
		…… 平年並か低い(少ない) 見込み
低い(少ない) 確率が 50%以上		…… 低い(少ない) 見込み